

# 酒匂川総合開発事業

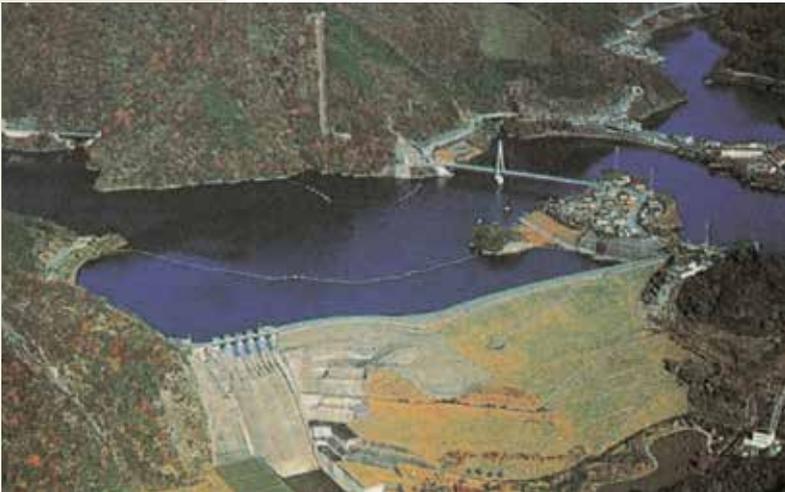
## 三保ダムの維持管理をしています。

酒匂川総合開発事業は、昭和40年代に入りさらに増大する県内の水需要に対応するため、神奈川県、神奈川県内広域水道企業団及び東京発電株式会社が、酒匂川支川河内川の山北町神尾田地点に多目的ダム（三保ダム）を築造し、洪水調節及び水道用原水の確保を行うとともに、エネルギーの有効利用を図るため発電を行っています。水道用原水は、下流の小田原市飯泉地点に建設した取水施設から神奈川県内広域水道

企業団が日量最大180万9,500m<sup>3</sup>を取水し、神奈川県、横浜市、川崎市、横須賀市並びに小田原市の各水道事業者へ供給するとともに、ダム直下流では東京発電株式会社が放流水の落差約70mを利用する水力発電所を建設して、最大出力7,400kWの発電を行っています。

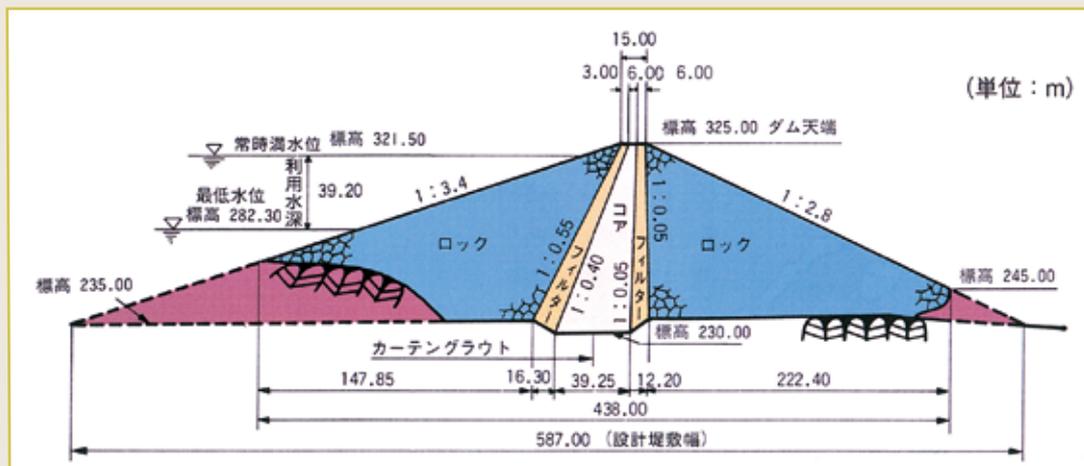
なお、ダム施設の維持管理は、企業庁が河川管理者（神奈川県知事）から委任を受けて行っています。

### 三保ダム



- 完成年月 ● 昭和 54 年 3 月
- 形式 ● 土質しゃ水壁型  
ロックフィルダム
- 堤高 ● 95m
- 堤頂長 ● 587.7m
- 総貯水容量 ● 6,490 万m<sup>3</sup>
- 有効貯水容量 ● 5,450 万m<sup>3</sup>

三保ダム標準断面図（単位：m）



## 貯水池等保全対策事業

三保貯水池（丹沢湖）の保全を図るため、湖岸崩落の対策や堆積土砂の除去等を行っています。丹沢湖への土砂流入を抑制するため、平成6年度に世附川上流部に貯砂ダムを建設し、引き続き、平成10年度に河内川上流部に貯砂ダムを建設しました。堆砂対策として、貯砂ダムに溜まった土砂を掘削し、骨材利用のほか、道路建設による工事間流用や旧砕石場の埋め立てとして利用しています。

世附川貯砂ダムでの土砂掘削状況▶



## 飯泉取水堰<sup>せき</sup>

完成年月 ● 昭和48年8月

形式 ● 全面越流型フローティングタイプ

標高 ● 8.4m(取水位)

<sup>せき</sup>堰 高さ ● 5.4m

<sup>せき</sup>堰 長さ ● 342.5m

放流施設 ● 洪水吐 ローラゲート 幅34m×高2.4m 5門

ローラゲート 幅34m×高3.4m 1門

転倒ゲート 幅36m×高1.7m 2門

土砂吐 ローラゲート 幅10m×高3.4m 1門

魚道 幅10m階段全面越流式

(施設の維持管理は、神奈川県内広域水道企業団)

